



## 日本人の心の拠り処

### 素盞雄神社

素盞雄神社にお話を伺って来ました。  
七九五年創建の素盞雄神社の御祭神は  
素盞雄大神と飛鳥大神です。

「スサ」には「荒・清浄」の意味があり、罪・穢・災・厄など身に降りかかる悪しきこと諸々を、荒々しい程の強い力で祓い清める災厄除けの神様です。別名を牛頭天王（ござてんのう）と言う為に通称を「お天王さま」といいます。飛鳥大神は善悪を一言で判断し得る明智を持たれた神様で、福の神として商工業繁栄・商売繁昌の「えびす様」として崇敬されています。

「大つごもりは、身を清めて静かに過ごします」  
大つごもりとは大晦日のことです。素盞雄神社では六月『夏越しの祓』と十二月『年越しの祓』があります。これは清々しく祓い清める神事です。年越しの祓は、この大晦日に行われます。

氏名・年齢・顔を書いた形代に息を吹きかけ身体を撫で、自分の身代わりとして罪穢、悪しきこと



とを負わせて神社に納めます。納めた形代を年越しの祓で浄火により焚き清めます。

### 「感謝の気持ちで再出発」

神社には一年を二つに区切るように一ヶ月を二分した、お一日参りと十五日参りがあります。このお参りでは、平穩に済ませる事ができた感謝とこれからの平穩を神様にお願ひに行きます。

仕事柄、手の汚れは取りきれなくても洗濯したての使い込んだ紺足袋を履いて気持ち新たに律し、お参りされていた方もいます。半月に一度の区切りのお参りで、色々なことから気持ちリセットして新たに出発致します。

### 「手水で清めて、二拝一拍手一拝」

参拝前に行う手や口を洗い清める手水は、みそぎを簡略化した儀式です。

右手でひしゃくを持つてたつぷりと水をくみ、左手を清め、次に持ち替えて右手を清めます。再びひしゃくを右手で持ち、左手で水を受け、口をすすぎます。（ひしゃくは直接口につけません。）改めて左手を清め、残った水でひしゃくの柄を洗い清め、元に戻します。

### 「瑞々しき、清々しきを感じて」

素盞雄神社の鳥居をくぐると、日光街道の喧騒が嘘のような静けさです。別な空間、神聖な空気を感じました。迷いの多い現代、参拝して頭を垂れる

ことにより、静寂な無の空間の中で森羅万象、神様との対話だけでなく、自分の内面との対話ができる気がします。

けじめ、区切りを付ける場所がここにあると思えました。

素盞雄神社では、元旦の午前零時より新年を祝う歳旦祭が執り行なわれます。

正月三ヶ日は

獅子舞が神楽殿の舞台から降りて来ます。頭を噛んでもらって厄払いを行います。

皆様、良いお年をお迎えくださいませ。



### 素盞雄神社

荒川区南千住6-60-1

■電話：03-3891-8281

（電話でのお問合せは8時より18時まで）

■FAX：03-3891-0222

※初詣でのご祈祷の詳細につきましてはお電話でのお問い合わせか、ホームページ

<http://www.susanoo.or.jp/>をご覧ください。